

式辞に先立ち、令和6年能登半島地震で、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被害を受けられた全ての皆様に心からお見舞いを申し上げます。

福井県立大学には、被災地域の学生が328名います。

皆さんと同じ学年にも、被害に遭われた方々がいます。

本学は、今後も被災地の早期復興を願い、できる限りの支援を行う予定です。入学する皆さんも、被災された方々に思いをはせていただき、ご支援いただければ幸いです。

皆さん、おはようございます。

私たち教職員一同は、皆さんの入学を心から歓迎します。ご入学おめでとう。

入学式には、杉本達治 福井県知事、西本正俊 福井県議会議長、河合永充 永平寺町長、横川裕司 福井県立大学後援会長、舟木隆純 福井県立大学同窓会長をご来賓としてお迎えしております。年度初めの、ご多用の中、ご臨席賜り誠にありがとうございます。

今日は、大学での学びに直結する、私たちの脳の働きについてお話します。

言葉の感性を研究している黒川伊保子さんは成熟脳という表題の文庫本で、脳の本番は56歳から始まると述べています。ヒトの脳の働きを、発生段階で考えると生まれてから28歳ぐらいが入力装置として働きさらに28歳を足して、56歳ぐらいまでが試行錯誤する、すなわち経験を積む期間で、さらに28歳を足して、84歳までが出力装置として働く期間と述べています。この28の倍数の説明は、個体差や環境要件も考えますと、多少、ばらつくかもしれませんが。人によっては、25歳から30歳、50歳から60歳、75歳

から 90 歳ぐらいの幅があるかもしれません。しかし、脳の働きを人生で大まかに3つに区分する考え方は面白い指摘です。

もう一つ、体力と異なり、脳の活動のピークが 50 歳を超えてからという指摘も斬新です。高等学校を卒業、または、浪人した方は 28 歳頃までが、脳が入力装置として、最高のパフォーマンスを示す時です。脳は、入力が得意なので、新しい学びに、全力で向かう価値があります。

孔子曰く、「吾、十有五にして学に志す。三十にして立つ」

四十代前後の社会人入学生の方の脳は、多様な試行錯誤の中で、成功の確率が高い方法の選択を行うために、働いているとされています。

孔子曰く、「四十にして惑わず、五十にして天命を知る」

六十代以降の社会人入学生の方の脳は、出力機関として完成しているので、一定の完成した自己を出発点に、改めて大学での学びが始まります。

孔子曰く、「六十にして耳従う、七十にして心の欲するところに従いて矩を超えず」

社会経験を踏まえた方との討論を、先生方は楽しみにしていると思います。

さて、ここで、社会に目を向けてみます。現在、若者が減り続けています。若者が減り続けていることは事実ですが人口減少に対処する正解はわからないことです。長期にわたり、なだらかに、人口が減少し続けることは、先進国が初めて直面する事態です。誰も、対処する成功例を持たない。成功例は、皆さん、自分たちで作り上げるしかありません。

このような混迷の時代でも、希望を語る先人はいます。人口問題を研究している河合雅司さんは、未来の年表の中で、地方の生き方の一例として、その地域で、ナンバーワンのブランドを作り海外と繋がり、貿易を活性化することを提案しています。海外と通商に必要な語学、海外と繋がるための情報スキル、学問に裏付けされた高度な技術で作られる商品の開発。河合さんは、地方を突き詰めて分析し、手持ちの宝(お国自慢の製品)を、情報スキルと英語を武器に、世界と交流する可能性を探ろうとしています。皆さんは、4年間で、自ら学ぶとともに、本日の特別講演会の朝比奈先生をはじめ、よき先生(希望を語る人)を増やしてください。

最後に大学での学びについて少しお話しします。

学びは、座ってノートをとるだけではありません。県大は、座学と体験学習(実験、実習、フィールドワーク、PBL)が準備されています。わたくしは、座学と体験学習の繰り返しで、皆さんの生きる力(困難への対処能力など)が向上すると考えています。人口減という事態が避けられないとすれば、これによって生じる不都合は何か? 皆さんには、各人、これから学ぶ専門性を土台として解決策を探っていただきたい。先生方は、おのおのの専門分野で、現状を分析するプロです。まずは、教えを請い、分析力をつけましょう。分析があまりいまいでは、未来が不安です。孔子できえも、天命が確信できたのは五十代。この4年間で、未来を考え抜いてみてください。皆さんにとっては、おそらく、この過程が、最重要です。芸が身を立てるとは、成功者になるというより「一芸にたどり着く過程の努力が重要」との、指摘だろうと思います。必至で勉強してみる、分析してみる。この過程の努力が、四十代の開花につながると思います。先生方は、必ず、サポートしてくれると確信し

ています。では、新しく、学びが稼働することを願いお祝いの挨拶とします。

入学おめでとう。

令和6年4月5日

福井県立大学長

岩崎行玄